

町政を問う!

# 一般質問

3月定例会では7人の議員が一般質問にたち、14項目にわたって理事者の考えをただしました。なお、質問と答弁は要約してあります。

## 土地改良再生事業の取り組みは

中島里司議員

土地改良再生事業の制度は各種ある。計画をたてるときには検討内容が多くなると思うが、国や道との協議を含め、町の職務体制をしっかりと設けて取り組む必要があるが考えを伺う。

高薄町長

現在まで、本町においても緊急対策として、国や道の補助事業に取り組んできている。

平成25年4月から新たに農地基盤整備に係る事

業を実施するため、計画をたてるべく組織体制の充実を図っていく。国営事業及び道営事業では補助率や採択要件が異なるなど、複雑な予算となるため、専門技術者の配置を行っていききたい。

## 商店街の活性化支援策は

中島里司議員

今までは、商工会や観光協会に託していたが、具現化するには町の強い支援が必要であり、その支援内容をあらかじめ検討すべきと思うが、考えを伺う。

高薄町長

商店街の活性化については、商工会や観光協会に託してきた部分もあり、今後、町として、さらに強い支援をしなければならぬと思っている。

活性化を図るひとつの手段として、交流人口を増やすことが必要であり、その方策として、道外からスポーツや芸術等の合宿誘致について、積極的に取り組んでいきたいと考えている。

合宿にともなう宿泊施設については、公共施設を有効活用し、町内事業者とも話し合いを持ちながら、支援等についても検討していく。

## どうなる、TPP問題は

口田邦男議員

TPP交渉参加は十勝への影響は大きく、地域崩壊につながる恐れがある。将来、本町がどのような姿になるのか分析し、町民共有の課題にすべきである。

また、生き残るための新農業改革の考えを伺う。

高薄町長

TPP交渉参加には、断固反対の立場であり、町としても、昨年には町民集会をJAと共催で開催したり、広報紙で特集を組むなど、

ど、町民に対して、TPPの影響などを周知している。

新農業改革については、十勝全体が一丸となって取り組む必要があるため、国の情勢や、農業政策を見極めながら、関係機関と協議して進めていきたい。

## 水資源保護条例の必要性は

口田邦男議員

山林など乱開発を規制して水を守らなければならぬ。道では昨年、「水資源の保全に関する条例」が制定された。市町村で必要

であれば、独自に条例制定をしたほうがよいとも報じられている。

本町にも乱開発の実態があることから、条例制定への考えを伺う。

高薄町長

本町では、水資源の保全に関する条例に基づき、水資源保全地域の指定を受けるなど、早くにこの問題に取り組んでいる。

乱開発に対する規制として、区域や行為については、森林法をはじめとした各種法律により制約がされ、罰則規定もあることから、町としても各種法律や制度遵守のための方策を検討していく必要がある。